

11月度月例会句会 会報・HP掲載句

十一月詠草

兼題：干し柿、酉の市、当季雑詠

夕日なか甘さだんだん吊し柿 安井 正浩

干柿や真白き壁に夕日落つ 生江沢五風

柿すだれ長寿の村の陽の光 佐藤 政百

干し柿や宅配便の来る峠 大仲 正敏

深川の不動も見たし酉の市 小野 信

景気よき顔のそろひて熊手挙げ 宮川 至剛

干柿やまたひととせと村の人 六川 里風

むかご飯妻の学びし里の味 中山 知祐

灰色の空より肩に雪蛍 石原 克己

秋の雨することもなし庭ながむ 川田 勝美

月天心空港バスに客二人 城戸崎雅崇

茶の花や不足言ふまじこれからは 清家 静楓

岩削る水の黒部の初紅葉 森 邦彦

秋灯やこれが最後の同期会 眞田 宗興

以上